

「本との出会いを通して豊かな心を育てる」

取組

■環境整備の様子

茶色の棚を、白色へ塗り替えた。R4より本の廃棄を進め、新刊に入替をしている。



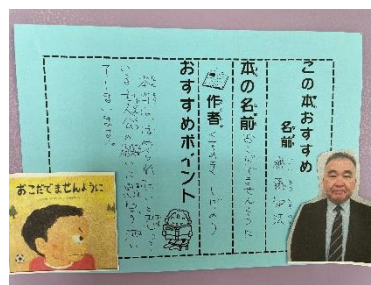
徐々に明るいイメージの空間に



不要な本の廃棄と棚みがき

■児童主体の取組

○図書委員による「先生おすすめの本」のヒアリングシートと本の掲示。



○図書委員によるPOP制作

各学年担当を決め、おすすめしたい本のPOPを制作した。

こだわりのキャッチコピーが児童達に好評である。



■読書活動

○読み聞かせ

多様なジャンルの本を読み聞かせすることにより、本を身近に感じることや読書の楽しさを体感することを目的としている。

【学校】「朝読書」の時間に、担任以外の先生による読み聞かせを行う。



児童は、普段あまり接点のない先生がクラスに来てくれた事もうれしく、熱心に読み聞かせを楽しんでいる。



2年生クラスにて国語科の単元（いなばの白うさぎ）に関連した読書として、日本の民話を選書した。3人1組で1冊の本を1ページずつ順番に読む活動を設定した。1人では読むことが難しい児童も積極的に読書ができた。

【家庭】お家の方と読書を楽しむ「ファミリー読書の日」を設定し、図書委員が放送で呼び掛け、感想を紹介する。

【地域】町立図書館ボランティアの方々にご協力いただき、各クラスでお話会を実施している。



学校図書館に所蔵していない本も読み聞かせてもらえる。知らない本との出会いや地域の方とのふれあいにもなる機会である。

■図書室の様子

